

日本ラート協会 会員各位

難度表改訂に関する通知

2015年3月9日

日本ラート協会

会長 大塚隆

技術部会長 本島淳夫

向春の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、技術部会にて進めていた難度表の改訂作業が終了しましたのでご連絡致します。

直転難度表は国際ラート連盟 (IRV) が発行した「IRV Straight-Line A and B Difficulty; English/German (2013)-Version 1.1」「IRV Straight-Line C Difficulty; English/German (2013)-Version 1.1」「IRV Straight-Line D Difficulty; English/German (2013)-Version 1.1」を基に、「Changes to the IRV Code of Points 2014」と「New Difficulty elements 2015 World Championships Wheel Gymnastics」に示された難度変更点（新技を除く）を反映させたものです。

斜転難度表は、国際ラート連盟 (IRV) が発行した「IRV Spiral Regulation 2010」を基に、「Changes to the IRV Code of Points 2012」「Changes to the IRV Code of Points 2014」「New Difficulty elements 2015 World Championships Wheel Gymnastics」に示された難度変更点（新技を除く）を反映させたものです。

1. 本難度表の適用時期

2015年の全日本ラート競技選手権大会から適用いたします。

2. D 難度の採用

D 難度は1つ認定され、直転と斜転で満点を得るには D1C7 難度が必要となります。

D 難度の難度表には新たに認定基準の欄を設けました。

3. A 難度の規定（特に直転）

本難度表から A 難度についても細かく規定されております。A 難度の基準を満たさない技はゼロ難度となります。

4. 新技について

過去に国内で新技として認められている技、また、既に国際規則で新技として難度が認められている技であっても、本難度表に記載のない技については、新たに新技申請が必要となります。新技申請の方法、期間は日本ラート協会事務局より後日ご連絡致します。

5. 跳躍の価値点

跳躍の価値点を IRV が発行する「IRV Vault Regulations 2010」の点数に合わせます。
詳しくは別紙「跳躍価値点表」をご参照下さい。

6. 採点規則の改訂

難度表の改訂に伴い、「採点規則 2012」の改訂を行います。
2015 年の春頃、改訂作業を終了する予定としています。
完成後は日本ラート協会ホームページなどで通知します。

以上